

平成26年度事業計画

平成26年4月1日～平成27年3月31日

公益社団法人 宮城県航空協会

基本方針

公益認定後2年目を迎える今期は、定款の目的を達成するため組織等の整備、資金調達方法の多様化に努め、将来の運用費用の高騰に備え持続的発展を可能にする体制整備に努める。実際の活動では、将来をになう青少年の健全育成は現代日本の重要課題であり、そのための取り組みとして昨年導入した初級グライダーを活用し体験型子供グライダー教室を開催し健全育成事業を積極的に行う。県民の方々にはホームページを通し広報活動に努め角田滑空場でグライダー体験飛行会を開催し体験型普及活動を行う。

1 定款第4条1項1号の事業

- (1) 航空機の操縦訓練希望者を対象としてグライダーを使用し角田滑空場で操縦練習会を毎土曜・日曜、祭日、夏休み、年末年始休暇期間に行う。操縦練習会日：通算約90日以上、参加予定延人数：約1,000人以上
練習延飛行回数：600回以上
- (2) 東北大学航空部に角田滑空場及び角田事務所を開放しグライダー操縦練習活動支援。
角田滑空場使用延日数：70日以上 参加予定延人数：約700人以上 練習延飛行回数1、500回以上
- (3) 特定操縦技能審査 対象者：航空機操縦技能証明所有者で法的対象者 期日：随時
- (4) 航空機操縦技能証明等の実地試験 対象者：法的受験資格を得た者 期日：随時

2 定款第4条1項2号の事業

- (1) 航空機展示、体験飛行、展示飛行は角田滑空場で事業項目1の(1)の事業が行われている日に随時
近年平均の角田滑空場見学者数：約500人以上 近年平均の体験搭乗者数：約100人以上
- (2) 航空スポーツの普及事業
 - (イ) 角田市主催の「宇宙っ子まつり」に参加。スカイネット角田と共催で「宇宙っ子まつりグライダーフェスティバル」を行い、グライダー展示、体験搭乗会、航空スポーツ普及の各種イベントを行う。
開催日：平成26年5月 見学者数：多数 体験飛行者：10人
 - (ロ) 子供グライダー教室開催 対象者：小中学生 期間：年間5回開催し期日未定
1回参加人数：20人程度
 - (ハ) スカイダイビングのダイバーを降下開始高度まで上げる支援、要請に応じ随時
 - (ニ) その他角田市はじめイベント参加及び展示飛行の要望があった時随時対応

3 定款第4条1項3号の事業

- (1) 飛行技術研究は異常姿勢からの回復訓練、技能習得レベルに合わせ随時
- (2) 北西風により奥羽山脈風下側にできる気流の波を利用した高度操縦技術のフライト訓練、気象条件と技術レベルに合わせ随時
- (3) グライダーの技量認定記章（国内記章、国際記章）、グライダー記録挑戦フライト及び記録認定支援

4 定款第4条1項4号の事業

- (1) 災害発生時及び緊急時の離着陸場の維持管理、約70m×約1,200m=84,000㎡（約25,500坪）を
通算20回草刈り整備
- (2) 災害発生時及び緊急時使用希望者には事前に使用申請をしてもらい審査を経て使用許可書を発行

5 定款第4条1項5号

- (1) 航空従事者学科試験及び特殊航空無線技士試験の受験支援
- (2) 競技技会への選手派遣支援
- (3) 航空スポーツ、航空安全講習会への講師派遣支援
- (4) 宮城フライトサービス及び角田フライトサービス無線局による航空機への安全支援